

I. 事業の概要

本年度は、英国のEU離脱問題や米国の大統領選挙など、海外では経済への先行きに関する不透明感が高まりました。国内においては、政府の経済対策の推進や雇用・所得環境の改善を背景に、穏やかながら景気の回復基調が続きました。一方では、雇用所得の改善が人件費を押し上げる要因となり、本団においても収益に影響を受ける結果となりました。

このような状況の中、九州大学病院の医学の研究を奨励助成し、患者の支援と職員・学生の学事研修等に便宜を図りながら、各種事業の運営に努めてまいりました。

収支については、患者支援等の実施事業では約3,400万円の公益目的支出を行い、ほぼ当初計画に沿った運営を行うことができました。

その他事業については、喫茶・販売の事業では増収を確保できましたが、薬局では処方箋の取り扱いが目標を下回り、薬剤料収入も下がったため、営業収入等は9.8%と予算を大きく下回り、また、薬剤師確保の負担などもあり当期の一般正味財産は2,875万円減少しました。なお、次年度以降は管理経費の見直しや、新たに総人件費の削減を行うなど早期黒字化へ向けた体制作りへの取り組みが課題となりました。

II. 事業の内容

事業については、移行時に策定した公益目的支出計画に沿って、奨励助成事業や患者の支援事業を確実に実施しました。また、その他の事業においても、平成28年度事業計画に基づいて活動を行いました。

(実施事業)

- 1) 医学研究及び学事研修に関する助成事業(特定寄附)
 - ・ 学術研究及び医学研究の助成
 - ・ 病院運営の助成
 - ・ 臨床看護研修の助成
- 2) 地域医療の発展及び振興の助成事業
 - ・ 医学雑誌発行の助成
- 3) 患者の慰安に関する支援事業
 - ・ 精神科・神経科病棟行事の支援
 - ・ 小児科病棟行事の支援
 - ・ クリスマスツリー・イルミネーション飾り等の支援
 - ・ ボランティア活動への支援
 - ・ 入院患者及び家族への宿泊施設の提供

(その他の事業)

1) 院内療養施設等の環境の整備事業

- ・ 外来棟及び各階ディールームの観葉植物設置・管理
- ・ ハートセンター庭園の管理運営
- ・ 雛飾り設置の支援
- ・ 外来患者服用飲料水の提供

2) 医療従事者への福利厚生事業

- ・ グラウンド라운드의協賛及び助成
- ・ 同窓会評議員会及び卒業生入会歓迎会の助成
- ・ 看護師等教職員向けマンションの貸付

3) 入院療養に必要な諸施設等の提供事業

- ・ 付添寝具の貸出、病衣の配備
- ・ 入院患者療養設備（テレビ・冷蔵庫・床頭台）の保守管理

4) 必需品の販売・貸付・役務の提供事業

- ・ ファミリーマート九大病院店、ウエストウイング棟売店の運営
- ・ 宅急便・電報の取次ぎ及び公衆電話・自動販売機の管理運営
- ・ コピー・ファクシミリサービス
- ・ 喫茶「ねむの木」の運営

5) 保険薬局事業

- ・ 恵愛団薬局、森の家薬局の運営